

トークショウ

「いじめと学校」

第一部

【特別ゲスト対談】 13時15分～
14時00分鈴木保奈美×池上正樹
(女優) (ジャーナリスト)

第二部

【ゲストを交えたパネルディスカッション】

■パネラー
いじめ自死家族「ここから未来」篠原真紀
ひきこもり家族、当事者、現役教師〈定員〉500名(申込先着順)
〈参加料金〉おひとり1000円

※後日視聴で申し込みの方限定で、大会終了後、1か月間の限定配信を行います。

KHJホームページか、右のQRコードより、お申込みください。

KHJ ひきこもり で検索!



■鈴木保奈美(スズキ ホナミ)

女優。1984年、芸能界デビュー。1991年に主演を務めた、フジテレビ系ドラマ『東京ラブストーリー』で大ブレイクとなる。以降、多数の人気ドラマに出演。2021年NHK土曜ドラマ『ひきこもり先生』でスクールソーシャルワーカー磯崎藍子役を演じ好評を博す。2021年12月9日配信のNetflix映画・劇団ひとり監督『浅草キッド』に出演。2020年～公式 Instagram開設。

<https://www.instagram.com/honamisuzukiofficial/>

全国大会開催に寄せて

～制度の狭間にあるひきこもり支援～

平成28年、推定115万人のひきこもり者が実態調査で明らかになった。誰もがいつなるもおかしくない「ひきこもり」の社会的理解を求めするために、KHJは唯一の全国組織として、39都道府県57地域の家族会がネットワークを組んで活動を行ってきた。

なぜこれだけ多くの人たちが、ひきこもらざるを得ないのか。その要因のひとつに、以前から言われている、制度の狭間の問題がある。不登校から卒業後に、居場所を失ったままひきこもる方、就労中に休職したままひきこもり、離職後にひきこもりが長期化している方なども見られる。また、自立支援受給者証がなく福祉サービスが使えないなど、未受診者や診断途絶の方、グレーゾーンの方々に対し、つながる資源がないまま、長期化・高齢化してしまうケースは非常に多いとみられている。受診できなければ、診断名が無ければ、福祉サービスは受けられないのか。ひきこもり支援は、いまだ切れ目だけの支援と言えるのではないか。

コロナショックにより、ひきこもりへの見方も変わった。ひきこもることの負い目も減ったが、家族との確執が深まったという声もある。その一方で、自己責任、家族責任といった、ひきこもりそのものを問題視する偏見も未だ根強い。「ひきこもりは悪だ」と言って、本人を無理やり「家(部屋)」から引き出し、就学や就労につなぐことをゴールとするような「支援」の考え方も少なくない。人生をどう生きるかを考える前に、社会適応や就労ありきに陥り、その人そのものの尊厳が失われてしまう事例も生じている。その人が、その人らしく生きていくための支援、選択肢のある生き方、SOSを出せるつながり(ライフステージに応じた居場所と仲間、ピアサポートの存在)が求められている。ひきこもりを生み出す社会、一人一人が孤独孤立を抱えている社会に、どのような安心と希望を見出していけるのか、私たちひとりひとりに、新しい社会のあり方が問われている。

留意事項

- 受講に必要な機材(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)とインターネット環境をご用意ください。
- 視聴、参加に伴う通信料等は、参加者負担になります。
- お申込みの方に、大会初日に使用するZOOMアドレス、2日目に参加される分科会のアドレスは、3日前を目途にお送りします。
- 通信環境によって動画の乱れが生じる場合があります。インターネット接続に関する不具合、お問合せなどには対応できかねます。あらかじめご了承ください。
- 受講のお申込みに際してお預かりする個人情報は、全国大会に関する内容のみに使用いたします。
- 本法人の許可なく、資料の複製、転載、配布、印刷等をし、第三者の利用に供することを禁止いたします。また、配信画面の録画、録音および撮影等は固くお断りいたします。

ホームページからお申込み後、参加費は下記口座に1週間以内にお振込みをお願いします。入金確認が取れましたら、申込受付完了メールをお送りいたします。

【振込先】

PayPay銀行 ビジネス営業部(ビジネス)支店 普通口座 2638940
口座名義人 特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会
(トクヒ)ケイエイチジェイゼンコクヒキコモリカゾクカイレンゴウカイ

2021年度 第15回 KHJ全国大会 **オンライン大会**

～KHJ全国ひきこもり家族会連合会・実践交流研修会～

ポストコロナ ～すべての人が 生きやすい社会をめざして～ 新しい社会を創る

開催日

令和3年 11月
27土～28日

参加対象者

本人・家族・支援者
行政関係者・関心のある方

参加費

おひとり 2000円(資料代込)

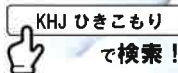
当事者無料

〈定員〉500名(申込先着順)

申込方法

KHJホームページか、右のQRコードより、
お申込みください。

※後日視聴で申し込みの方限定
で、大会終了後、1か月間の限定
配信を行います。



問い合わせ先

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-16-12-301
特定非営利活動法人
KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局
TEL:03-5944-5250 FAX:03-5944-5290
e-mail: info@khj-h.com

プログラム初日 27日(土)

11:30 – 受付開始

12:00 – 開会行事

主催団体挨拶:共同代表
来賓挨拶:国会議員、厚生労働省ほか

12:15 – 調査報告

「ポストコロナに求められる社会とは」
境 泉洋(宮崎大学教育学部教授)

12:45 – 基調講演

「ひきこもりが示す生きやすい社会」
池上 正樹(ジャーナリスト)

13:15 – 行政説明

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

14:00 – 全体シンポジウム

「ポストコロナ・新しい社会を創る
～私たちの社会はどこへ向かってゆくのか～」

座長:伊藤 正俊
コメンテーター:安西 慶高

【シンポジスト】

- 〈当事者〉登坂真代(KHJ横浜ばらの会)
- 〈家族〉高和洋子(KHJはあとびあ家族会 理事長)
- 〈地域福祉〉山本 耕平(佛教大学 教授)
- 〈医療〉齋藤 環(筑波大学医学医療系 社会精神保健学 教授)
- 〈保健・看護〉山根 俊恵(山口大学大学院 教授)

17:00 – 初日終了

プログラム2日目 28日(日)

08:30 – 開場・受付開始

09:00 – テーマ別分科会交流会(5テーマ)

- 1) ひきこもり支援の人材育成について
- 2) ピアサポーターを活用した支援のあり方
- 3) 「たびだち」～本人家族の声を発信・活躍の場を創る～
- 4) 兄弟姉妹の会の意義
- 5) ひきこもり基本法の検討と推進について

11:30 – 全体共有

12:00 – 大会宣言 閉会

後援

(申請中・予定含む)

内閣府政策統括官(政策調整担当) / 全国社会福祉協議会 / 日本臨床心理士会 /
日本地域福祉研究所 / 一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク / 東京都(申請中)